

第十三回（六月）定例会では、十二人の議員が市政について質問しました。

一般質問



全ての質問項目（通告一覧）はこちら

議員名	主な質問項目	掲載頁
小泉 宣子	ICT活用推進、学校教育、行政手続	4
原 信也	定額乗り放題パスポート	4
尾藤 正弘	雑がみりサイクル、高齢者の買物弱者対策、入札方法	5
霞 恵介	教職員の労働環境改善に向けた取組	5
渡部一二実	改正育児・介護休業法対応策、パワハラ防止対応策等	5
渡邊 博夫	ゼロカーボンシティ、ゼロカーボン推進条例、クラスター	5
小澤 隆	同性パートナーへの広報、生理用品の配布、ごみの分別	6
井原三千雄	行政改革、中心市街地の拠点としての中央公園	6
山下富美子	市立小中学校のいじめ、被害者等への対応、事例の検証	6
岡田 進一	要介護高齢者及び家族への支援施策	6
川口 三男	公共施設最適化計画 30年間の更新費用 1,481億円の根拠	7
梅沢 弘	人口減少社会、実質公債費比率、固定資産減価償却率	7

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.7の用語解説を御覧ください。

沼津方式バス乗り放題パスポートを導入する考えは

問 全年齢を対象としたバスの定額乗り放題パスポートを導入することで、交通弱者の救済のみならず、新たなまちのにぎわいの創出にもつながると考えるが、本市の認識は。

答 都市計画部長／現在、市内では富士急シティバスと東海バスが、高齢者を対象とした定額乗り放題の定期券販売を行っている。この定期券を購入すると、富士急シティバスでは全路線が乗り放題、東海バスでは一回につき百円で乗車することができる。また、本市においては、三つのバス会社の運行により広範囲にバ

スネットワークが形成されており、これまでも事業者と連携し、利用者の増加策などを含め、様々な検討を行ってきた。今後も、利用者目線による路線の再編や運行ダイヤの改善、路線バスの乗車券と人気スポットや飲食店などのサービスを組み合わせ、た企画乗車券の販売、定額乗り放題料金の設定など、利用者増加と収益確保の両面の観点も踏まえながら、公共交通が、誰もが安心して利用できる利便性の高い移動サービスとなるよう、引き続き事業者と協議していく。

原 信也



タブレット端末の利用時間等を制限する考えは

問 小中学校で導入したタブレット端末の利用に当たり、利用時間や閲覧を制限する考えは。

答 教育長／本市では、子供たちの情報リテラシーを育むため、学校生活に限らず、家庭においても、自律的・探求的な学びを推進している。そのため、現時点では、犯罪に巻き込まれる危険性があるインターネットサイトの閲覧制限などを除き、利用時間や特定の動画の視聴に関する制限を設ける予定はないが、引き続き、端末の活用状況を分析した上で、必要な対策を検討していく。

問 市民が死亡した際に家族が手続をワンストップで行うことができるおみやみコーナーを設置する考えは。

答 市民福祉部長／家族が亡くなった場合、その遺族が様々な手続を行うことは、心身ともに多大な負担になると考えている。そのため少しでも遺族の負担を軽減できるよう必要な手続を一括して行うことができるおみやみコーナーの設置に向けた検討を進めており、現在、庁内の事務手続やシステム対応をはじめとした連携体制の構築、設置場所に関する課題等の整理・調整を行っている。

小泉 宣子

